

一人一人の仕事が、まちを支え  
活気を生み出す原動力です



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

旭川も1年で最も寒い時期を迎えています。12日に閉幕した旭川冬まつりには、多くの方にご来場いただきました。開園50周年となる旭山動物園をテーマにしたメイン雪像の制作をはじめ、今回も多くの方々のご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年スタートした第8次旭川市総合計画では、「人口減少の抑制」と「魅力的な地域づくり」を効果



的に進めるため、重点テーマの1つとして「しごと活き活き 賑わいづくり」を掲げています。仕事は生活を支える経済的基盤をつくり上げることがもとより、社会とのつながりや生きがいなどをもたらし重要なものです。34万人が暮らす本市では、基幹産業である農業や製造業、サービス業など様々な産業が集積していますが、そこ

で働く一人一人の仕事が、まちを支え、活気を生み出す原動力となっています。旭川が今後も道北の拠点都市として持続的に発展していくため、産業の振興をはじめ地域の優位性を生かした企業誘致、またテレワークやインターン・Ｕターン就職など、就業機会の拡大や働きやすい環境づくりに取り組め、引き続き、活力に満ちたまちづくりを進めていきます。

旭川市長のまざに一言  
F M リバー FM83.7MHz  
2月23日(木)  
午後4時～4時15分

西川 将人

## 旭川市の広報番組

### テレビ

●マイタウンあさひかわ  
(手話通訳付き) HBC

2月26日(日)

午前6時30分～45分

「旭川オシゴト探訪(仮題)」

●旭川市民ニュース S T V

毎週土曜日

午前11時54分～58分

●わくわくライフ旭川

ケーブルテレビポテト 11ch

毎週土曜日

午後1時～1時30分のうち、15分間

### ラジオ

●市からのお知らせ

F M リバー FM83.7MHz

毎月第1～3木曜日

午後4時から約5分間

## クイズに答えて

## プレゼントを 当てよう!



●問題 今月号の特集のタイトルは「この〇〇で働く。」です。〇〇に入る言葉は?

●応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、2月末日までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で10人に、種田菓子舗のパウンドケーキ3種(チョコ・コーヒー・リンゴ)をプレゼント。1月号の正解は「子供」、応募は310通でした。

●応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目  
旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」

FAX 25・6515 ■kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



## 夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター

一般電話からはフリーダイヤル

0120・20・8699

携帯電話からは

011・221・8699

旭川市医師会

携帯版



## 市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

●子供に関する相談や  
児童虐待の通報・相談

26・5500

●女性が抱える問題や  
配偶者等の暴力の相談

25・6418

●ひとり親家庭等の相談

25・9107

●高齢者の介護に関する相談

25・9119

●障害がある方の総合相談

73・5936

FAX 73・5937

## 子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)

0120・528506

平日午前8時45分～午後5時15分  
(月・木曜日は午後8時まで)

## 表紙の 写真



札幌の専門学校を卒業し、昨秋から住宅メーカー「家計画」で建築デザイナーとして働く柴崎侑也さん(右)。大工の國貞昌志さんたちと共に、理想の家造りを目指します。